

交通事故防止のPOINT

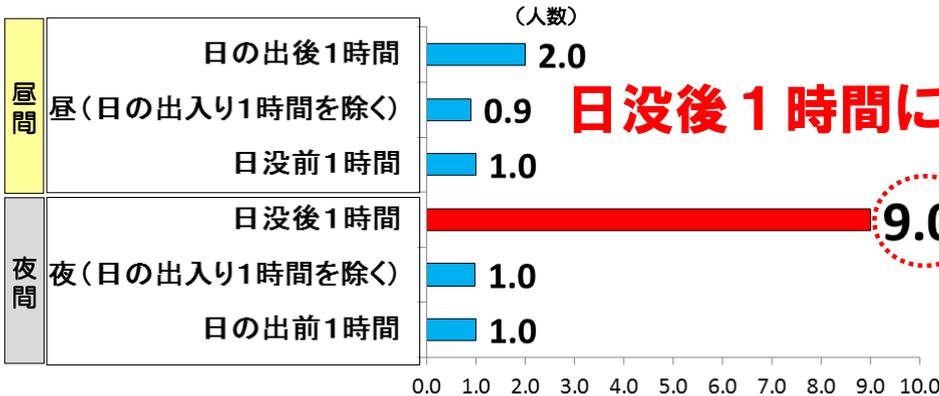
※ 過去5年（H26～H30）に愛知県において発生した交通死亡事故等を分析した結果です。

2月

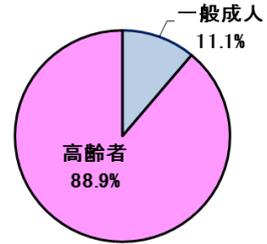
被害者は高齢者が多い

日没後1時間に歩行者死亡事故多発

■ 過去5年2月の1時間あたりの歩行者死者数



日没後1時間に多発



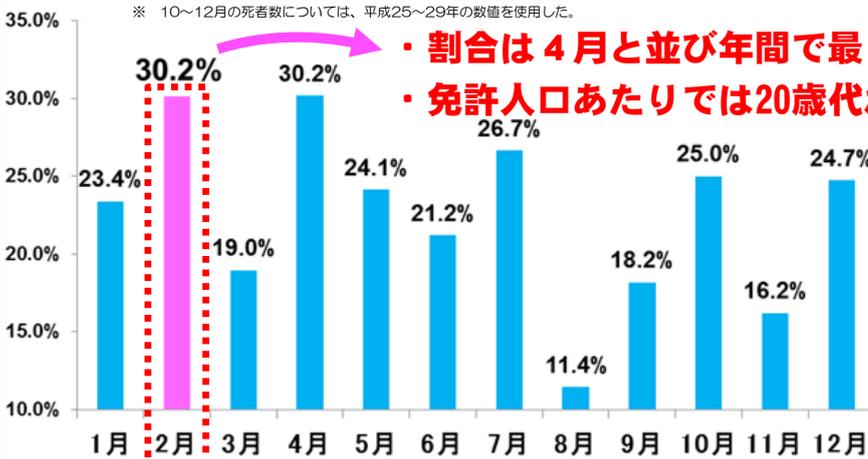
車両側の横断歩行者妨害違反が多い

2月の日没時間は、午後5時台

業務中のドライバーの割合高い(19人)

■ 原付以上第1当事者の通行目的「業務中」の割合

※ 10～12月の死者数については、平成25～29年の数値を使用した。



・ 割合は4月と並び年間で最も高い
・ 免許人口あたりでは20歳代が多い



事故の直前ドライバーは何を・・・

- 1 考え事、漫然運転 5人
- 2 安全確認が不十分だった 5人
- 3 わき見運転 4人 など

2月は、交通が集中し、視認性が低下する日没後の時間帯に歩行者が被害者となる交通死亡事故が多発する傾向にあります。

歩行者の方は、ドライバーからの視認性を高めるため、明るい服装や反射材の着用を心がけ、事故に遭わないように気を付けましょう。ドライバーの方は、速度を控え、歩行者や自転車の方を見かけたらその動きに気を配るなど安全運転に努めてください。

また、2月は業務中のドライバーが死亡事故を起こす割合が年間で最も高く、信号無視や歩行者妨害などの交通違反を伴っています。各事業所におかれましては、業務中の交通事故防止に関する注意喚起等をお願いします。

